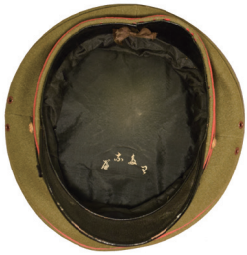


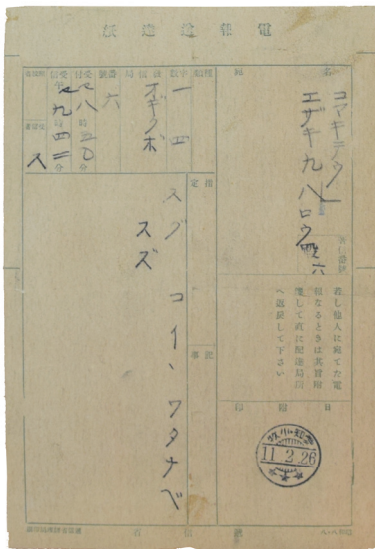
# 渡邊錠太郎関係資料



渡邊錠太郎着用軍帽  
(裏に「わたなべ」と刺繍されている)



渡邊錠太郎肖像写真  
(昭和11年2月20日撮影)



渡邊すず差出電報  
(昭和11年2月26日)

- [指定年月日] 平成二二年二月一〇日  
令和六年二月六日追加指定
- [種別] 指定有形文化財（歴史資料）
- [名称] 渡邊錠太郎関係資料
- [点数] 一四一点
- [所有者等] 杉並区教育委員会
- [所在地等] 大宮一―二〇―八（郷土博物館）

指定有形文化財（歴史資料）

## 渡邊錠太郎関係資料

本資料は、二・二六事件で標的となった陸軍教育總監・渡邊錠太郎（一八七四～一九三六）に関する資料である。家政資料や遺品、直筆額、写真アルバム等の諸資料並びに上荻窪にあった渡邊邸の建具・調度類のほか、渡邊が副官を二度務めた山県有朋に関する資料など多岐にわたる。

ここには、渡邊の出自を示す養子縁組届や家督相続関係書類のほか、学究肌であったと伝わる渡邊の教養を窺うことのできる「論語」や「中庸」などの漢詩を典故とした渡邊の自筆掛軸などもみられる。

また、邸宅の図面や建具類をはじめ、二・二六事件発生直後の親族宛電報など、同事件の舞台のひとつである「教育總監渡邊錠太郎私邸」が杉並にあったことを証する資料が含まれることも特徴で、昭和の重大事件と杉並との関係を伝える資料としても貴重である。

本資料の一部は、平成二二（二〇一〇）年に「渡邊錠太郎及び同邸関係資料並びに柳井平八関係資料」として杉並区有形文化財に指定された資料であるが、新たな資料の寄贈に伴い、前記指定資料より柳井平八関係資料を分離・独立させ、

令和三（二〇二一）年四月に寄贈された渡邊関係資料を中心に追加指定し、指定名を「渡邊錠太郎関係資料」に改めた。

【文化財旧所在地】旧渡邊錠太郎邸

